受領　令和８年９月 28 日 13 時 24 分	通告番号（７）1/2

令和８年９月 28 日

読谷村議会
議長　比　嘉　幸　雄　　殿

読谷村議会議員
長　濱　宗　則　　印

一 般 質 問 通 告 書

第 555 回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第 61 条第２項の規定により通告いたします。

質　問　要　旨	答弁を求める者
ふれあい・支え合い・助け合い・結の心で村づくり １　持続可能な村づくりには若者の生活基盤となる職場を創出することが不可欠である。 （１）読谷村が過去5年間で誘致・誘導した企業件数と事業内容、及び雇用状況は、 （２）アロハゴルフ場跡地に新規企業進出の計画あると伺うが状況は、	
２　花織、やちむん、ガラス手作り体験工房館を建設し県内外に読谷村の伝統工芸を広く発信しブランド力を高める。 （１）読谷村として今後、読谷村の伝統工芸どう支援、発展させるか問う、 （２）現在の花織、やちむん、ガラス工房の数と従事者数を問う	
３　第一次産業(農業、漁業、林業、畜産業)は育てる、とる、食べ物や資源を支える大事な産業です読谷村の現状は （１）読谷村の産業別構造人口を問う、 （２）総合計画に農業、魚業、畜産支援の具体策はあるか （３）農業、漁業、畜産支援予算は （４）現在の認定農家数と担い手育成の取り組みは	

質　問　要　旨	答弁を求める者
4　65歳以上高齢者、2026年3624万人・総人口の29、6%占める、少子高齢化は加速する現在、長年にわたって社会の進展に寄与し、豊富な知識と経験を有している高齢者が敬愛され、生きがいをもって健康で安心した生活を送ることができるよう社会全体で支えていくことが不可欠である。第9期読谷村高齢者保険福祉計画・介護保険事業計画の理念「高齢者がいつまでも健やかで安心して暮らせるふれあい豊かな村」地域共生社会に向けた取り組みから （1）第9期の基本目標と計画期間を問う （2）現在の高齢化率とひとり暮らし(65歳以上)世帯数は （3）要支援1から2、介護1から介護5まで認定者数と認定率は （4）令和4年から令和7年まで本村の総給付費の推移は （5）単身高齢者の住宅セフティネット法の整備状況は	
5　高度成長期以降に整備された施設、インフラの老朽化が一斉に進み、修善や更新の必要性が急増している。国土交通省も、事後対応でなく　予防保全の転換が急務と示している。 （1）読谷村の公共施設の更新時期を迎えた施設名は （2）現在建設中の屋内体育施設維持管理に関わるライフコスト計画は （3）維持管理コストの圧縮を図るためスポーツ施設を指定管理者制度導入の計画は	